

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

# TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

## 東京都感染症週報

2024年第33週  
(8月12日～8月18日)

- \* 2024年8月21日現在の情報により作成しています。  
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。  
<https://survey.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/>
- \* 今週は感染症豆知識「RSウイルス母子免疫ワクチン」も掲載しています。

令和6年(2024年)8月22日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター  
健康危機管理情報課

電話：03-3363-3213 (直通)  
FAX：03-5332-7365  
e-mail：tmiph@section.metro.tokyo.jp

全数把握対象疾患 報告数 (一類～四類)

2024年33週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				
		30週	31週	32週	33週	年累計
一類	エボラ出血熱					
	クリミア・コンゴ出血熱					
	痘そう					
	南米出血熱					
	ペスト					
	マールブルグ病					
	ラッサ熱					
二類	急性灰白髄炎					
	結核	30	39	53	24	1,313
	ジフテリア					
	重症急性呼吸器症候群 <sup>*1</sup>					
	中東呼吸器症候群 <sup>*2</sup>					
	鳥インフルエンザ(H5N1)					
	鳥インフルエンザ(H7N9)					
三類	コレラ					2
	細菌性赤痢		2	4	1	11
	腸管出血性大腸菌感染症	16	20	9	18	216
	腸チフス					3
	パラチフス					2
四類	E型肝炎	3	1	3	2	91
	ウエストナイル熱					
	A型肝炎			1		15
	エキノコックス症					
	エムボックス					12
	黄熱					
	オウム病					
	オムスク出血熱					
	回帰熱					
	キャサヌル森林病					
	Q熱					
	狂犬病					
	コクシジオイデス症					1
	ジカウイルス感染症					
	重症熱性血小板減少症候群 <sup>*3</sup>					
	腎症候性出血熱					
	西部ウマ脳炎					
	ダニ媒介脳炎					
	炭疽					
	チクングニア熱					
つつが虫病						
デング熱	3	1	1	2	39	
東部ウマ脳炎						
鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)						

\*1 病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

\*2 病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。

\*3 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				
		30週	31週	32週	33週	年累計
四 類	ニパウイルス感染症					
	日本紅斑熱					
	日本脳炎					
	ハンタウイルス肺症候群					
	Bウイルス病					
	鼻疽					
	ブルセラ症					
	ベネズエラウマ脳炎					
	ヘンドラウイルス感染症					
	発しんチフス					
	ボツリヌス症					
	マラリア					7
	野兔病					
	ライム病					
	リッサウイルス感染症					
	リフトバレー熱					
	類鼻疽					
	レジオネラ症		9	6	4	1
レプトスピラ症				2		3
ロッキー山紅斑熱						

2024/8/21集計

(全数把握対象疾患のコメント:一類～五類)

(二類感染症)

**結核 24件** 患者 15件(肺結核 10件、その他の結核 3件、肺結核及びその他の結核 2件)、無症状病原体保有者 9件、年齢は20代 7件、40代 3件、50代 3件、60代 2件、70代 2件、80代 5件、90歳以上 2件、推定感染地は国内 12件、インド 1件、ミャンマー 1件、不明 10件であった。

(三類感染症)

**細菌性赤痢 1件** 無症状病原体保有者、菌種はboydii (C群)、年齢は30代、推定感染地はインド、推定感染経路は不明であった。

**腸管出血性大腸菌感染症 18件** 患者 13件、無症状病原体保有者 5件、血清型・毒素型はO103 VT1 1件、O103 VT(型不明) 1件、O111 VT1・VT2 1件、O145 VT2 1件、O157 VT1・VT2 4件、O157 VT2 7件、血清型不明VT1・VT2 1件、血清型不明VT1 1件、血清型不明VT2 1件、年齢は5～9歳 1件、10代 2件、20代 5件、30代 2件、40代 2件、50代 1件、70代 4件、80代 1件、推定感染地は国内 14件、韓国 2件、インドネシア 1件、不明 1件、推定感染経路は経口感染 7件、接触感染 2件、不明 9件であった。

(四類感染症)

**E型肝炎 2件** 患者 2件、年齢は50代 1件、60代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は経口感染 2件であった。

**デング熱 2件** 患者 2件、病型はデング熱 2件、血清型は不明 2件、年齢は30代 1件、40代 1件、推定感染地はインド 2件であった。

**レジオネラ症 1件** 患者、病型は肺炎型、年齢は40代、推定感染地は不明、推定感染経路は不明であった。

(五類感染症)

**ウイルス性肝炎 1件** 病型はその他(エンテロウイルス)、年齢は5歳未満、推定感染地は不明、推定感染経路は不明であった。

全数把握対象疾患 報告数 (五類)

2024年33週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				
		30週	31週	32週	33週	年累計
五 類 ( 全 数 届 出 )	アメーバ赤痢	3	2	1		69
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)	3			1	26
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	3	3	1	110
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く) *1					4
	急性脳炎 *2	1	1			29
	クリプトスポリジウム症					6
	クロイツフェルト・ヤコブ病					8
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4	5	5		187
	後天性免疫不全症候群	11	6	3	5	177
	ジアルジア症	1	2			9
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	2	1	4	44
	侵襲性髄膜炎菌感染症		1			6
	侵襲性肺炎球菌感染症	2	4	3	2	183
	水痘(入院例に限る)		1	2	1	43
	先天性風しん症候群					
	梅毒	70	78	86	56	2,304
	播種性クリプトコックス症					16
	破傷風					1
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症					
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症			1		6
百日咳	6	6	7	12	114	
風しん					1	
麻しん					8	
薬剤耐性アシネトバクター感染症					1	
2024/8/21集計						

\*1 2018年5月1日より追加指定された。

\*2 ウェストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

**カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 1件** 病原菌は*Citrobacter freundii*、年齢は5歳未満、推定感染地は国内、推定感染経路は不明であった。

**後天性免疫不全症候群 5件** 病型は無症候キャリア 5件、性別は男性 5件、年齢は20代 3件、30代 1件、40代 1件、推定感染地は国内 5件、推定感染経路は同性間性的接触 5件であった。

**侵襲性インフルエンザ菌感染症 4件** 血清型は未実施 4件、年齢は40代 1件、50代 1件、80代 2件、推定感染地は国内 4件、推定感染経路は接触感染 2件、不明 2件、ヒブワクチン接種歴は不明 4件であった。

**侵襲性肺炎球菌感染症 2件** 血清型は未実施 2件、年齢は50代 1件、80代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 1件、不明 1件、肺炎球菌ワクチン接種歴は接種なし 1件、不明 1件であった。

**水痘(入院例) 1件** 病型は検査診断例、年齢は10代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明、水痘ワクチン接種歴は接種なしであった。

**梅毒 56件** 患者 45件(早期顕症梅毒 I 期 33件、早期顕症梅毒 II 期 12件)、無症候梅毒 11件、性別は男性 39件、女性 17件、年齢は10代 2件、20代 26件、30代 15件、40代 3件、50代 5件、60代 5件、推定感染地は国内 47件、インドネシア 1件、不明 8件、推定感染経路は性的接触 54件(同性間 12件、異性間 39件、両性間 1件、性別不明 2件)、不明 2件であった。

**百日咳 12件** 年齢は5~9歳 4件、10代 4件、30代 2件、40代 1件、50代 1件、推定感染地は国内 9件、不明 3件、百日咳含有ワクチン接種歴は4回接種済み 7件、不明 5件であった。

※ 第26週該当分として〔五類〕水痘(入院例) 1件の追加報告があった。

※ 第27週該当分として〔三類〕腸管出血性大腸菌感染症 1件、〔五類〕カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 1件、侵襲性肺炎球菌感染症 1件、梅毒 2件の追加報告があった。

※ 第29週該当分として〔三類〕腸管出血性大腸菌感染症 1件、〔五類〕梅毒 1件の追加報告があった。

※ 第30週該当分として〔五類〕カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 1件の追加報告があった。

※ 第31週該当分として〔五類〕梅毒 1件の追加報告があった。

※ 第32週該当分として〔三類〕細菌性赤痢 1件、〔五類〕劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件、侵襲性肺炎球菌感染症 1件、梅毒 3件の追加報告があった。

# 定点把握対象疾患 報告数 2024年33週

上段:報告数 下段:定点当たり

定点種別	対象疾患	2024年				報告医療機関数	定点医療機関数
		30週	31週	32週	33週		
小児科	RSウイルス感染症	78	104	100	50	227	264
		0.30	0.40	0.39	0.22		
	咽頭結膜熱	70	48	73	27		
		0.27	0.18	0.29	0.12		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	472	413	358	217		
		1.80	1.57	1.40	0.96		
	感染性胃腸炎	760	737	763	397		
		2.90	2.80	2.99	1.75		
	水痘	62	30	40	23		
		0.24	0.11	0.16	0.10		
	手足口病	3,603	2,790	1,983	976		
		13.75	10.61	7.78	4.30		
	伝染性紅斑	94	99	110	88		
		0.36	0.38	0.43	0.39		
突発性発しん	72	79	74	44			
	0.27	0.30	0.29	0.19			
ヘルパンギーナ	676	476	310	110			
	2.58	1.81	1.22	0.48			
流行性耳下腺炎	13	7	12	8			
	0.05	0.03	0.05	0.04			
川崎病 <sup>*1</sup>	4	6	3	3			
	0.02	0.02	0.01	0.01			
不明発しん症 <sup>*1</sup>	21	10	18	7			
	0.08	0.04	0.07	0.03			
インフルエンザ/COVID-19	インフルエンザ <sup>*2</sup>	111	102	85	61	364	419
		0.27	0.24	0.21	0.17		
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	3,803	3,031	2,209	1,321		
		9.12	7.25	5.50	3.63		
眼科	急性出血性結膜炎					34	39
	流行性角結膜炎	20	21	13	5		
		0.51	0.54	0.36	0.15		
基幹	細菌性髄膜炎 <sup>*3</sup>		1	1		25	25
			0.04	0.04			
	無菌性髄膜炎	2		2	1		
		0.08		0.08	0.04		
	マイコプラズマ肺炎	27	37	53	55		
		1.08	1.48	2.12	2.20		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	1					
	0.04						
感染性胃腸炎(ロタウイルス) <sup>*4</sup>							
インフルエンザ入院	7	3	1	8			
	0.28	0.12	0.04	0.32			
COVID-19入院	237	204	178	152			
	9.48	8.16	7.12	6.08			

2024/8/21集計

\*1 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。

\*2 鳥インフルエンザを除く。

\*3 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

\*4 病原体がロタウイルスであるものに限る。

## ( 今週の注目される定点把握対象疾患 )

- ・手足口病の定点当たり報告数は、4.30で警報レベルが続いています。
- ・新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は、3.63で前週より減少しています。
- ・マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は、2.20で今後の動向に注意が必要です。

## 定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2024年33週

	小児科											
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病	不明 発しん症
～5か月	5					10			3			
6～11か月	10	2		30		64	9	16			1	1
1歳	17	7	8	44	1	235	5	23	22			
2歳	13	7	15	43	2	158	6	6	20	1	2	1
3歳	2	1	12	37	1	151	17	3	15	2		
4歳	1	2	25	21	1	119	19	1	8			2
5歳	1	2	22	39	2	106	14	2	12	2		2
6歳		2	33	26	4	44	9		7			
7歳		2	19	23	1	14	9		4	2		
8歳		2	17	24	3	20	3		2			
9歳			11	17	3	21	4					
10～14歳			30	44	5	18	2					1
15～19歳	1		2	10		4						
20～29歳			23	39		12			1	1		
30～39歳												
40～49歳												
50～59歳												
60～69歳												
70～79歳												
80歳以上												
合計	50	27	217	397	23	976	88	44	110	8	3	7
先週比	-50	-46	-141	-366	-17	-1,007	-22	-30	-200	-4		-11

注: 小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	インフルエンザ/COVID-19		眼科		基幹						
	インフル エンザ	新型コロナウイ ルス感染症 (COVID-19)	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院	COVID -19 入院
～5か月		14				1					4
6～11か月		21								1	1
1歳	1	39					1				4
2歳	2	11					3				1
3歳	1	13					6				1
4歳	2	7					3			1	
5歳	3	9					5				2
6歳	5	6					4			1	
7歳	5	14		1			7				
8歳	1	5					6				1
9歳	1	9					3				
10～14歳	7	69		1			12				3
15～19歳	4	65					2				
20～29歳	3	159		1			1			1	2
30～39歳	4	157		1			1				7
40～49歳	8	163					1			1	2
50～59歳	6	219		1						1	11
60～69歳	4	115									15
70～79歳	2	107								1	31
80歳以上	2	119								1	67
合計	61	1,321		5		1	55			8	152
先週比	-24	-888		-8	-1	-1	2			7	-26

注: 小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数【保健所別】 2024年33週

	小児科											
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	川崎病	不明発しん症
千代田				0.67		2.33						
中央区				1.33		3.00	0.33	0.33				
みなと	0.33		0.33	0.50		2.00	0.50	0.33	0.17			
新宿区	0.38	0.13	0.63	2.00		2.25	0.13		0.38			
文京			1.00	2.50		4.00	0.50					
台東		0.50	0.25	1.50	0.25	6.25	0.50	0.25	2.00	0.25		
墨田区			0.20	0.80		2.60			0.40		0.20	0.40
江東区	0.22		0.89	3.56		9.11	0.44	0.67	0.44			
品川区			0.17	2.17		2.17		0.17	0.33		0.17	
目黒区	1.00		0.50	0.25		9.50	0.50	0.50	0.25			
大田区	0.40	0.20	0.70	2.90		6.20	0.50	0.30	0.50	0.10		
世田谷	0.46		1.31	3.62	0.38	7.92	0.46	0.23	1.08	0.15		0.23
渋谷区				1.00		3.50	0.50		0.50			
中野区			2.33	2.33	0.33	10.67	0.33		3.00			
杉並	0.18	0.18	0.82	0.73		2.18	0.27	0.18	0.18			
池袋	1.67	0.67	0.67	3.00	0.33	4.33	0.67		1.00			
北区	0.29		0.57	0.29		1.43	0.86	0.14	0.29			
荒川区	0.67		2.00	2.33	0.33	8.67	1.33	0.67	2.67			
板橋区	0.11		0.78	1.44	0.22	2.89	0.44	0.11	0.22			
練馬区	0.17		3.17	2.33		2.00	0.50	0.17	0.50			0.17
足立	0.55	0.45	1.18	1.82		1.73	0.18	0.36	0.27		0.09	
葛飾区			0.25	0.63	0.13	0.25						
江戸川		0.63	0.63	2.00	0.38	4.13		0.25	0.75			
八王子市	0.17	0.17	3.67	4.50	0.17	6.67			1.00			
町田市	0.13		2.25	4.50	0.13	3.38	0.38	0.38	0.25			
西多摩	0.13		0.25	0.38		1.88	0.13	0.13		0.25		
南多摩			0.50	1.38		4.63	0.25	0.25	0.50			
多摩立川	0.14		0.21	0.29		0.93			0.07			
多摩府中	0.10	0.05	1.10	1.00	0.24	6.62	0.90	0.10	0.52	0.05		0.05
多摩小平	0.20	0.40	1.67	1.87		6.60	0.73	0.27	0.40			
島しょ					1.00	5.00				1.00		

東京都	0.22	0.12	0.96	1.75	0.10	4.30	0.39	0.19	0.48	0.04	0.01	0.03
-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

	インフルエンザ/COVID-19		眼科		基幹						
	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ入院	COVID-19入院
千代田	0.50	6.00									5.00
中央区	0.20	0.40									
みなと	0.44	2.56					1.00			1.00	7.00
新宿区	0.50	6.40		1.00			1.50			0.50	4.00
文京	0.75	7.75									6.00
台東	0.57	3.86									
墨田区	0.14	8.86					8.00				10.00
江東区		3.07									
品川区	0.20	1.50									
目黒区		1.40									
大田区	0.06	1.82		1.50			2.00				6.00
世田谷	0.11	4.63					1.00			0.50	5.00
渋谷区	0.14	2.71									6.00
中野区	0.17	5.83									
杉並	0.06	1.47					7.50			0.50	4.00
池袋		6.00					4.00				
北区		3.82									
荒川区	0.50	6.33									
板橋区	0.13	2.87					1.00				11.00
練馬区	0.38	2.15									
足立	0.24	6.29									
葛飾区	0.54	3.15					2.00				12.00
江戸川	0.08	6.00									
八王子市		4.50									13.00
町田市	0.08	4.92									
西多摩	0.07	2.71									8.00
南多摩	0.08	3.77									
多摩立川	0.05	2.57					1.00				2.00
多摩府中	0.18	1.70				0.33	5.00			0.33	4.67
多摩小平	0.04	3.70					0.50			1.50	8.50
島しょ		12.00									4.00
東京都	0.17	3.63		0.15		0.04	2.20			0.32	6.08



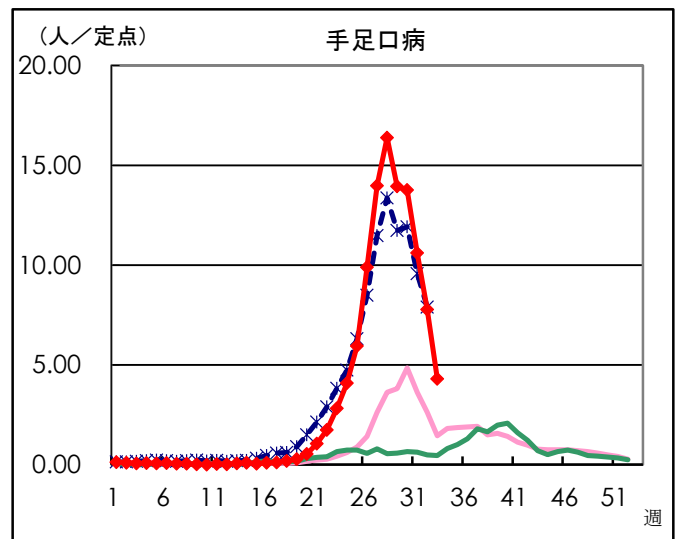
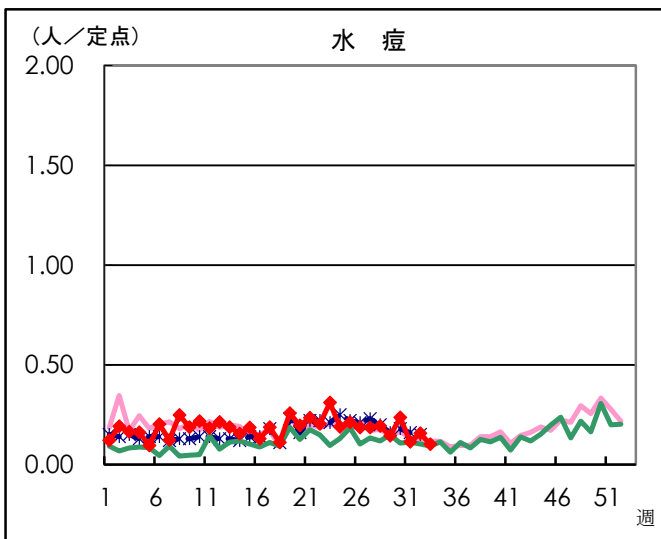
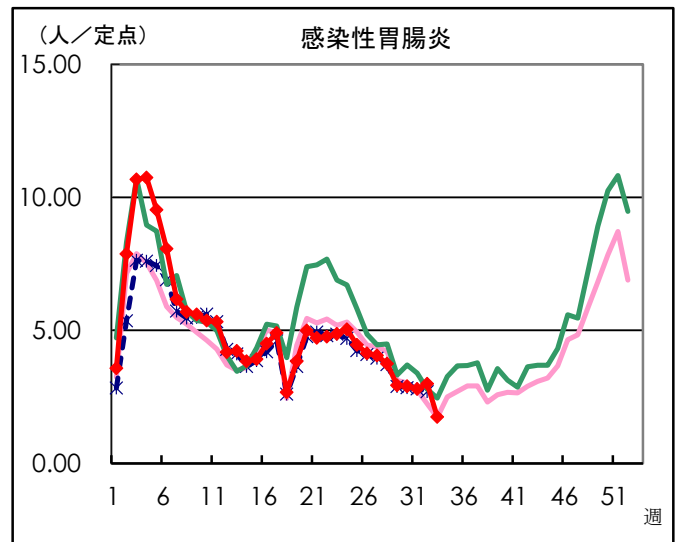
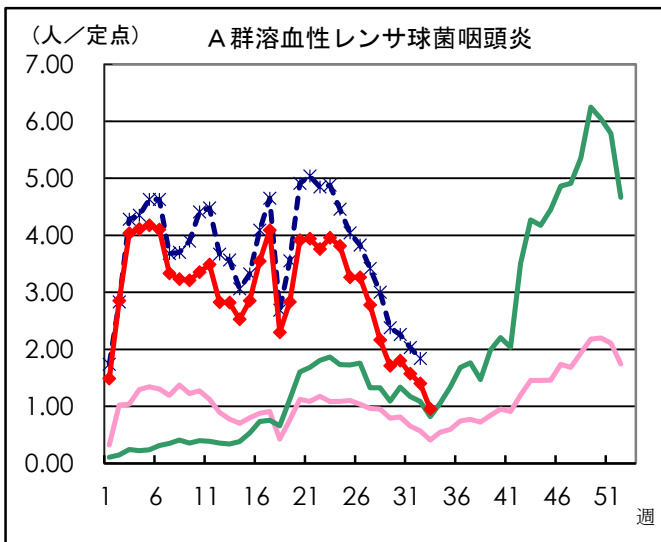
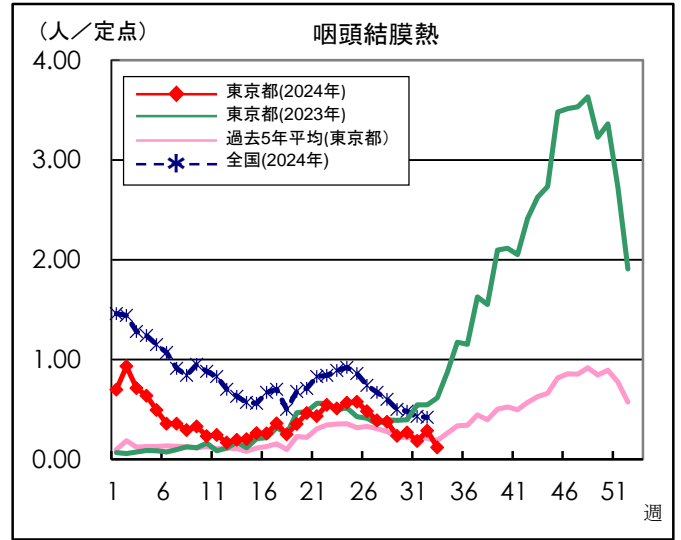
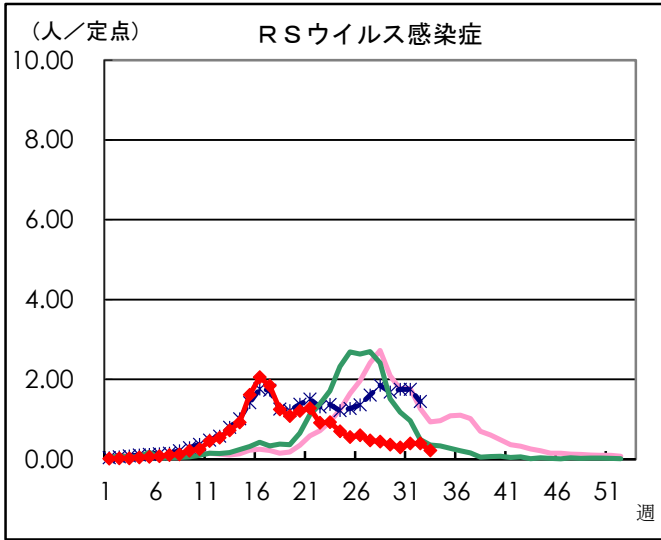
定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2024年33週

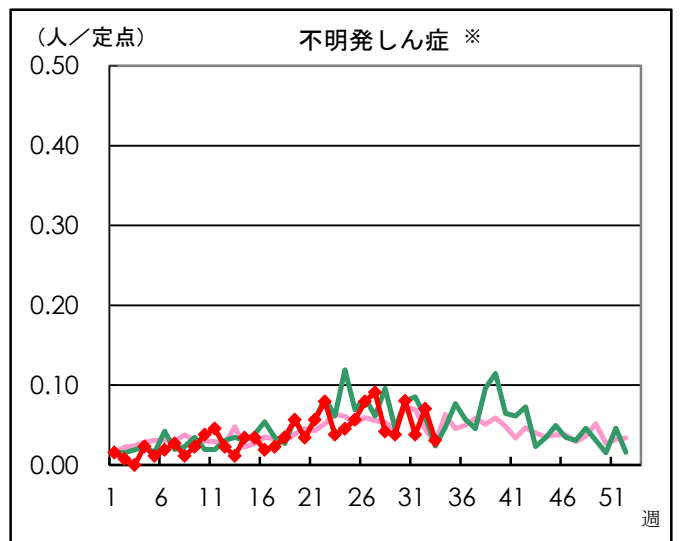
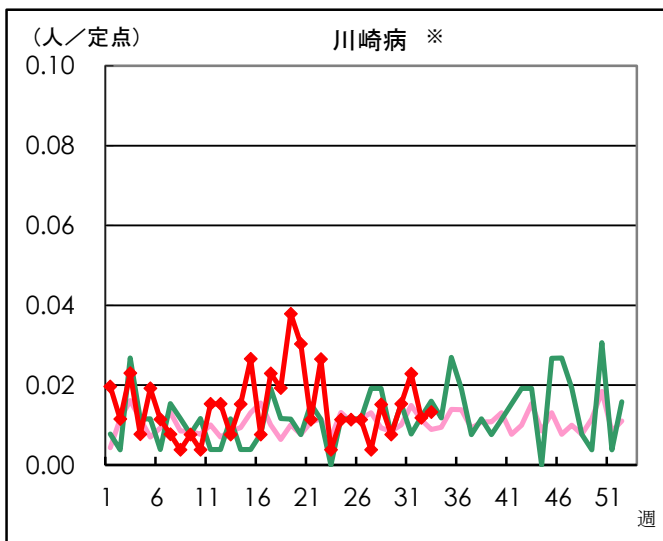
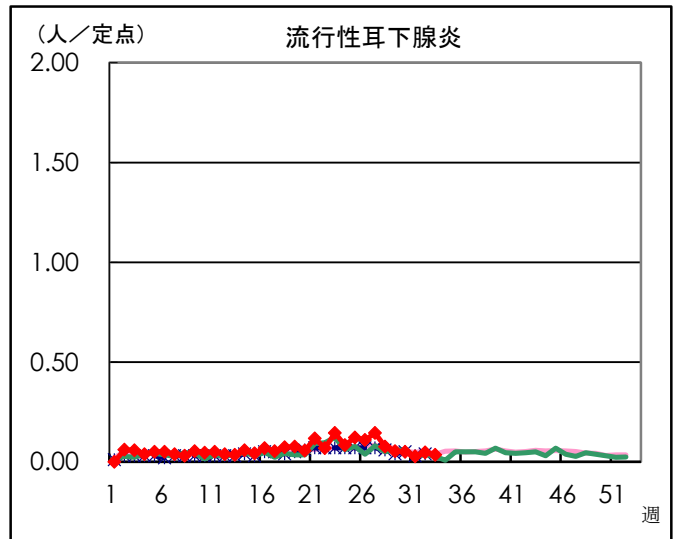
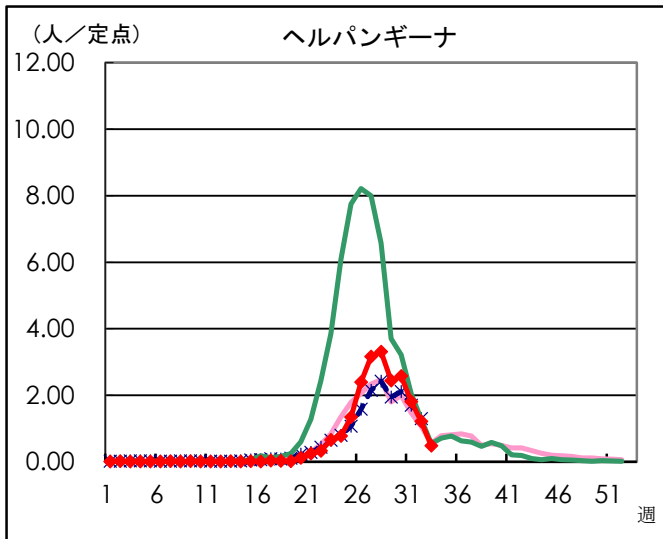
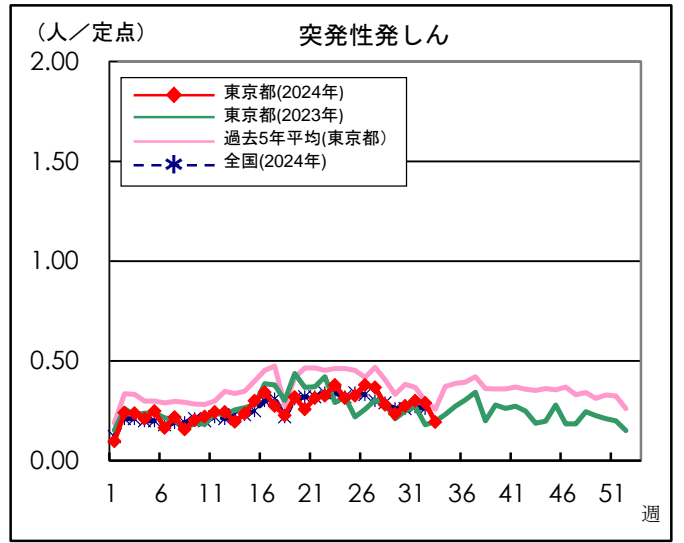
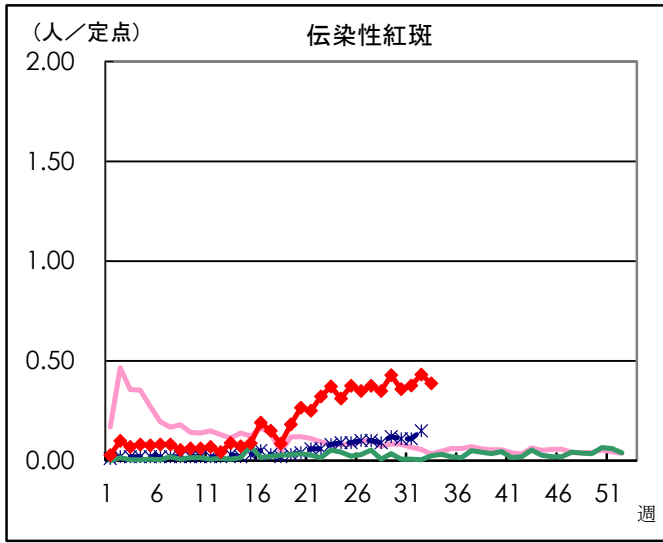
	小児科											
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病	不明 発しん症
千代田				2		7						
中央区				4		9	1	1				
みなと	2		2	3		12	3	2	1			
新宿区	3	1	5	16		18	1		3			
文京			2	5		8	1					
台東		2	1	6	1	25	2	1	8	1		
墨田区			1	4		13			2		1	2
江東区	2		8	32		82	4	6	4			
品川区			1	13		13		1	2		1	
目黒区	4		2	1		38	2	2	1			
大田区	4	2	7	29		62	5	3	5	1		
世田谷	6		17	47	5	103	6	3	14	2		3
渋谷区				4		14	2		2			
中野区			7	7	1	32	1		9			
杉並	2	2	9	8		24	3	2	2			
池袋	5	2	2	9	1	13	2		3			
北区	2		4	2		10	6	1	2			
荒川区	2		6	7	1	26	4	2	8			
板橋区	1		7	13	2	26	4	1	2			
練馬区	1		19	14		12	3	1	3			1
足立	6	5	13	20		19	2	4	3		1	
葛飾区			2	5	1	2						
江戸川		5	5	16	3	33		2	6			
八王子市	1	1	22	27	1	40			6			
町田市	1		18	36	1	27	3	3	2			
西多摩	1		2	3		15	1	1		2		
南多摩			4	11		37	2	2	4			
多摩立川	2		3	4		13			1			
多摩府中	2	1	23	21	5	139	19	2	11	1		1
多摩小平	3	6	25	28		99	11	4	6			
島しょ					1	5				1		
東京都合計	50	27	217	397	23	976	88	44	110	8	3	7

	インフルエンザ/COVID-19		眼科		基幹						
	インフル エンザ	新型コロナウイルス 感染症 (COVID-19)	急性出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院	COVID -19 入院
千代田	2	24									10
中央区	1	2									
みなと	4	23					1			1	7
新宿区	5	64		2			3			1	8
文京	3	31									6
台東	4	27									
墨田区	1	62					8				10
江東区		43									
品川区	2	15									
目黒区		7									
大田区	1	31		3			2				6
世田谷	2	88					2			1	10
渋谷区	1	19									6
中野区	1	35									
杉並	1	25					15			1	8
池袋		24					4				
北区		42									
荒川区	3	38									
板橋区	2	43					1				11
練馬区	5	28									
足立	4	107									
葛飾区	7	41					2				12
江戸川	1	78									
八王子市		54									13
町田市	1	64									
西多摩	1	38									8
南多摩	1	49									
多摩立川	1	54					1				2
多摩府中	6	56				1	15			1	14
多摩小平	1	85					1			3	17
島しょ		24									4
東京都合計	61	1,321		5		1	55			8	152

# 定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数(2024年33週 現在)

## ◆小児科定点

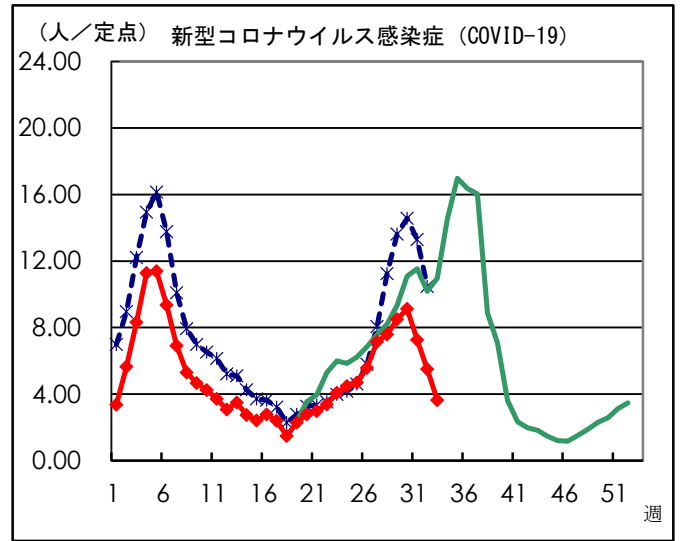
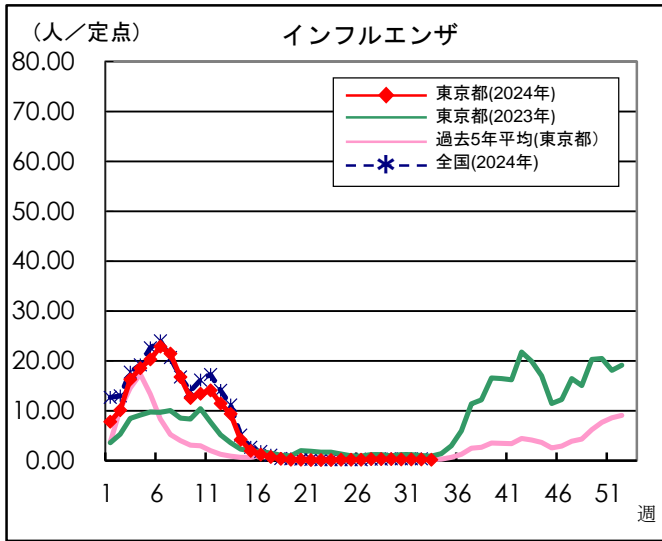




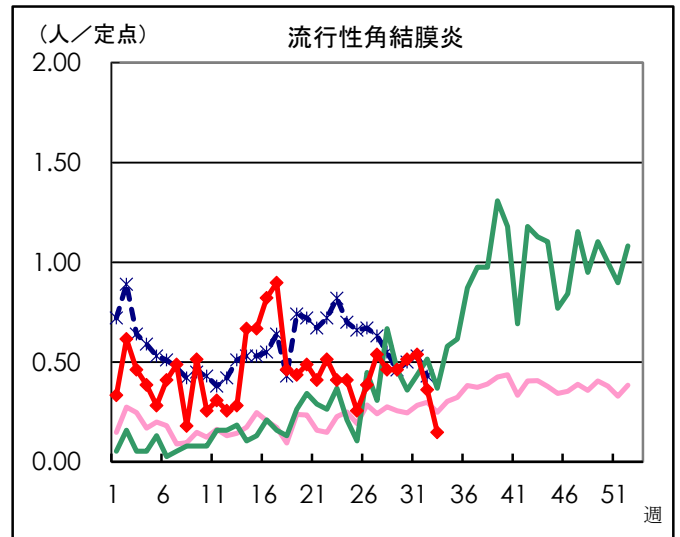
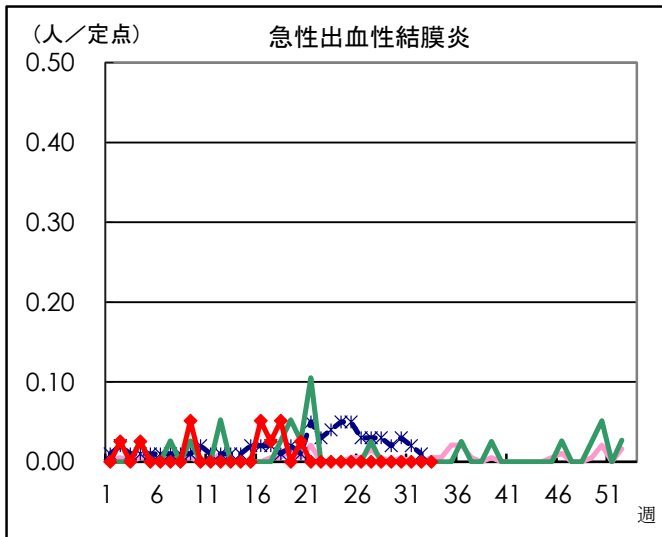
※ 東京都独自対象疾患

※ 東京都独自対象疾患

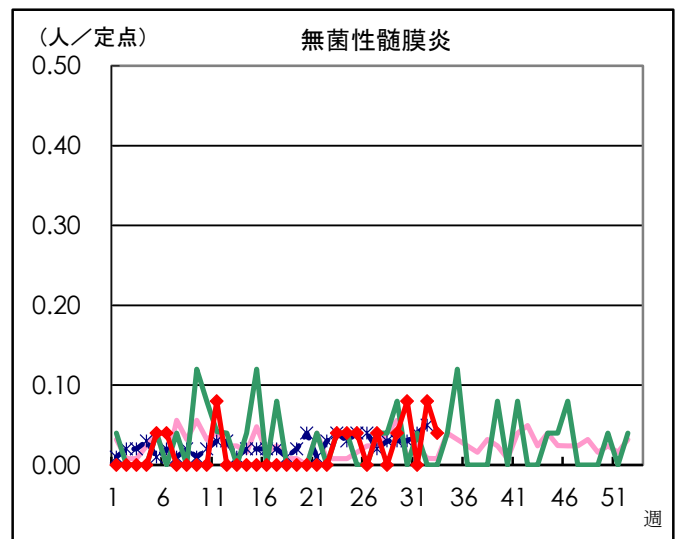
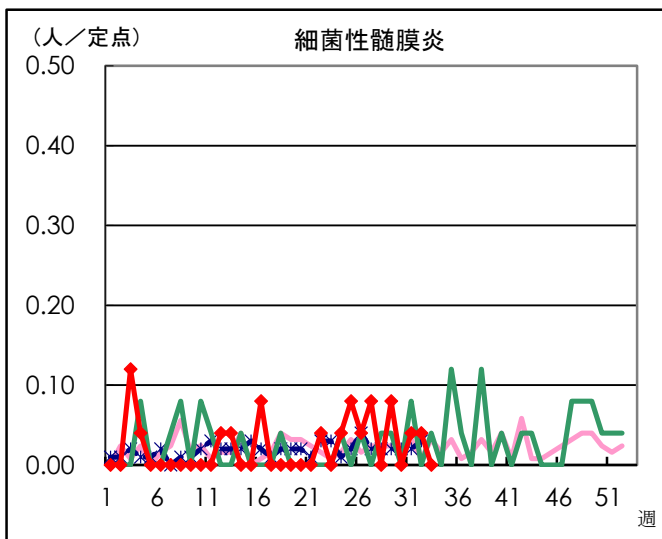
◆インフルエンザ/COVID-19定点



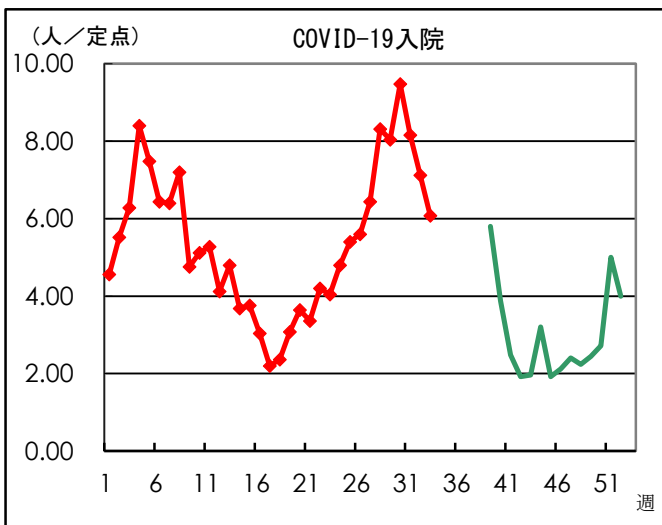
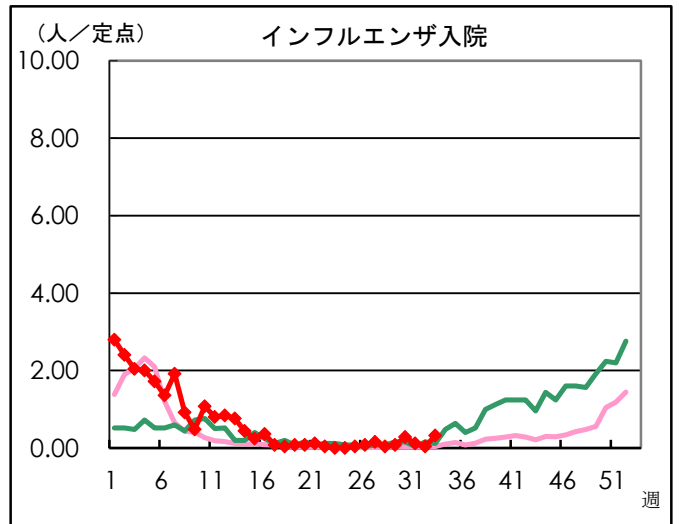
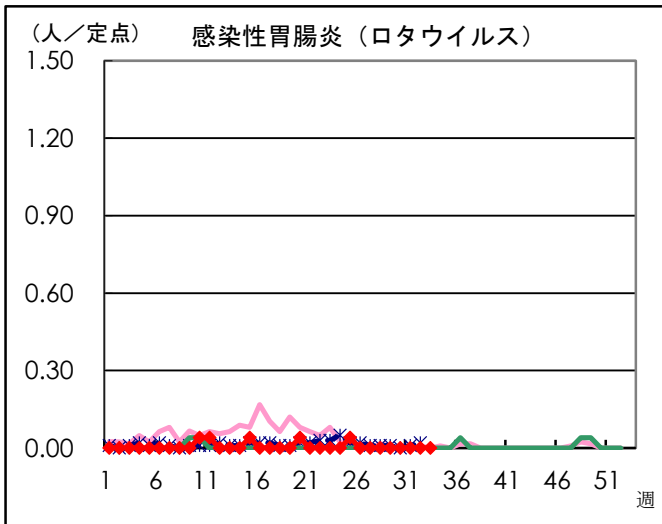
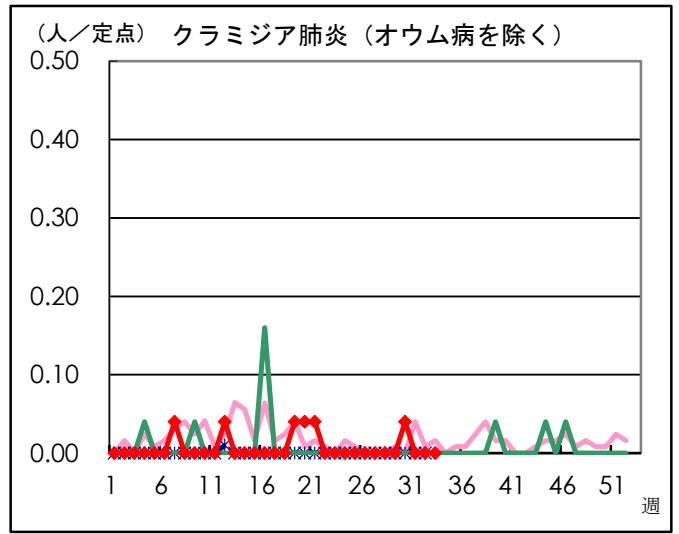
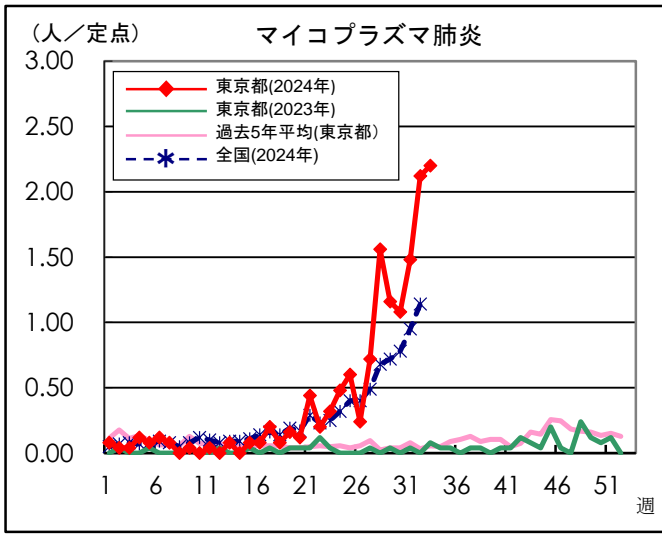
◆眼科定点



◆基幹定点



◆ 基幹定点



## 定点医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

採取日	臨床診断名	年齢	検査試料	検出病原体
7/9	RSウイルス感染症	3M	咽頭拭い液	RSウイルスA型
7/19	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌T-B3264型
7/24	手足口病	2	咽頭拭い液	エンテロウイルス71型
7/25	インフルエンザ様疾患	6	咽頭拭い液	ライノウイルス SARS-CoV-2 パラインフルエンザウイルス1型
7/29	手足口病	11M	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群6型
7/29	手足口病	1	咽頭拭い液	エンテロウイルス71型
7/29	手足口病	1	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群6型
7/30	ヘルパンギーナ	6	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群10型
7/30	流行性角結膜炎	42	結膜拭い液	アデノウイルス54型
7/31	不明発しん症	1	咽頭拭い液	ヒトパルボウイルスB19 ヒトヘルペスウイルス6型

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

	AH1pdm09	AH3亜型	B型Victoria系統	B型Yamagata系統
2024年31週	3			
2023-2024年 シーズン累計*	130	188	139	

\* 2023-2024年シーズンの開始は第36週(2023年9月4日～)

## 病原体検出情報【週別】

検出病原体	2024年							
	24週	25週	26週	27週	28週	29週	30週	31週
アデノウイルス	3	1	1	3		2	1	1
コクサッキーウイルスA群	4	5	4	5	6	2	6	3
コクサッキーウイルスB群		1						
エコーウイルス							1	
エンテロウイルス71					1	2		2
その他のエンテロウイルス						2	2	
ライノウイルス	3	2	2	2	6	3	1	1
ヒトメタニューモウイルス		1		1				
単純ヘルペスウイルス								
水痘・帯状疱疹ウイルス								
ヒトヘルペスウイルス6型・7型							1	1
EBウイルス								
サイトメガロウイルス								
ムンプスウイルス								
麻しんウイルス								
麻しんA型(ワクチンタイプ)								
風しんウイルス								
風しん1a型(ワクチンタイプ)								
ヒトパルボウイルスB19		1			1			1
RSウイルス		1	1		1			1
ノロウイルス								
ロタウイルス	1							
サポウイルス								
インフルエンザウイルスAH1pdm09			1	2	3		3	3
インフルエンザウイルスAH3亜型							1	
インフルエンザウイルスB型Victoria系統								
インフルエンザウイルスB型Yamagata系統								
SARS-CoV-2				2		1	1	1
その他のウイルス				1				1
A群溶血性レンサ球菌T-1型	1			1				
A群溶血性レンサ球菌T-3型								
A群溶血性レンサ球菌T-4型	1		3	1				
A群溶血性レンサ球菌T-12型								
A群溶血性レンサ球菌T-25型								
A群溶血性レンサ球菌T-28型								
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型		2	1			1	1	
A群溶血性レンサ球菌その他のT型								
A群溶血性レンサ球菌T型別不能								
百日咳菌								
肺炎マイコプラズマ							1	
肺炎クラミジア								
髄膜炎菌								
B群レンサ球菌								
肺炎球菌								
インフルエンザ菌								
黄色ブドウ球菌								
大腸菌								
その他の細菌								
その他の病原体								



# 病原体検出情報【臨床診断名別】

2024年24週～2024年31週

	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	川崎病	不明発疹	インフルエンザ	インフルエンザ様疾患	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
搬入検体数	4	2	16	2	3	33	2	2	7			14	12	25		19		1	1	
アデノウイルス		2												1		9				
コクサッキーウイルスA群					2	24			5			2	1	1						
コクサッキーウイルスB群														1						
エコーウイルス																1				
エンテロウイルス71						5														
その他のエンテロウイルス									1			2		1						
ライノウイルス		2				8		1				2	1	6						
ヒトメタニューモウイルス														2						
単純ヘルペスウイルス																				
水痘・帯状疱疹ウイルス																				
ヒトヘルペスウイルス6型・7型								1				1								
EBウイルス																				
サイトメガロウイルス																				
ムンプスウイルス																				
麻疹ウイルス																				
麻疹A型(ワクチンタイプ)																				
風疹ウイルス																				
風疹1a型(ワクチンタイプ)																				
ヒトパルボウイルスB19							2					1								
RSウイルス	2													2						
ノロウイルス																				
ロタウイルス				1																
サポウイルス																				
インフルエンザウイルスAH1pdm09													11	1						
インフルエンザウイルスAH3亜型													1							
インフルエンザウイルスB型Victoria系統																				
インフルエンザウイルスB型Yamagata系統																				
SARS-CoV-2															5					
その他のウイルス															2					
A群溶血性レンサ球菌T-1型			2																	
A群溶血性レンサ球菌T-3型																				
A群溶血性レンサ球菌T-4型			5																	
A群溶血性レンサ球菌T-12型																				
A群溶血性レンサ球菌T-25型																				
A群溶血性レンサ球菌T-28型																				
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型			5																	
A群溶血性レンサ球菌その他のT型																				
A群溶血性レンサ球菌T型別不能																				
百日咳菌																				
肺炎マイコプラズマ																				1
肺炎クラミジア																				
髄膜炎菌																				
B群レンサ球菌																				
肺炎球菌																				
インフルエンザ菌																				
黄色ブドウ球菌																				
大腸菌																				
その他の細菌																				
その他の病原体																				

## <感染症豆知識>

### R S ウイルス母子免疫ワクチン

「妊婦への能動免疫による新生児及び乳児におけるR S ウイルスを原因とする下気道疾患の予防」を適応とする組換えR S ウイルスワクチン（販売名：アブリスボ®筋注用）が5月31日、国内初の母子免疫ワクチンとして発売された。母子免疫ワクチンとは、妊婦への接種により母体の抗体価を高め、胎盤を介した母体から胎児への中和抗体の移行により、乳児の感染症を予防するものである。

R S ウイルス感染症は、新生児から高齢者まで幅広い年齢層に認められ、終生免疫が獲得されないため再感染を繰り返す疾患である。新生児・乳児や高齢者では重症化する可能性があり、60歳以上の高齢者を対象とした組換えR S ウイルスワクチン（販売名：アレックスビー®）は、本年1月15日にすでに発売されている。

新生児・乳児においては生後1歳までに50%以上、2歳までにほぼすべての児がR S ウイルスに初感染し、感冒様症状から上気道症状、下気道症状まで様々な症状を呈する。生後6カ月未満では重症化しやすく、肺炎、無呼吸、急性脳症等の合併症や反復性喘鳴の後遺症を発症することがある。本邦では年間12～14万人の2歳未満の乳幼児がR S ウイルス感染症と診断され、そのうち4分の1の3万人が入院加療を要した。

R S ウイルス感染症に対しては抗ウイルス薬等の原因治療はなく、対症療法・支持療法が中心となるため、感染予防が重要となる。本ワクチン承認の根拠となった国際共同第Ⅲ相試験（MATISSE試験）では、ワクチンの有効性は、重症例では生後90日で81.8%、180日で69.4%、医療機関の受診を要する事例では生後90日で57.1%、180日で51.3%であり、妊娠28～36週での接種が望ましいという結果が報告されている。

（文責：きりんウイメンズクリニック武蔵野（産婦人科医会） 武知 公博）